

令和2年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価			
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価		
1 市民への文化芸術の観賞、創作活動の機会の提供をします。	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	●「午前の音楽会」事業 □述べ入場者数/開催回数	900名/6回	192名/3回	-	感染症拡大防止のため、5月、7月、9月は中止。 実施日:11/21, 1/16, 3/20 感染症拡大防止策のため、定員の半数を上限として実施。	【成果】 非常事態宣言に伴う閉館、再開後も定数の制限等の条件により、事業の中止が相次ぎました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインにしたがっての事業開催は、当初、3密を避けるための誘導・消毒の方法など、手探りでの運営となりました。 一度の開催は定員の半分として開催回数を増やす、あるいは、来館者の健康を第一に考えて中止とする、など事業によって、また、時期によって柔軟に対応してまいりました。 コロナ禍での事業開催は、参加者にも制約を強いること(常時マスク着用等)も多いのですが、おおむね好評で、結果的には来館者の大きなご支援・ご協力を感じることができた機会となりました。  【課題】 定員50%でのイベント実行の場合、収支バランスが取れません。また、web上での課金制のライブ配信等は、回線の安定性・音声のクオリティ、課金の方法などの問題点があると思われます。	【評価する点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止・延期を余儀なくされるなか、規模を縮小しながらの開催とはなりましたが、「午前の音楽会」「岩間シネクラブ 思い出名画館」などを実施し、文化活動の継続に取り組んでいることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域連携型イベントの中止が相次ぐ厳しい状況の中、「学校プログラム事業」を実施したことを評価します。 ・「子どものための夏休み日本舞踊WS」「ぼくのお絵かきあそび」などについて、必要に応じてウェブでの発信に切り替えるなど、可能な範囲で工夫しながら実施したことを評価します。 ・感染症拡大により実施が不可能になった事業(「ほどがや国際交流フェスタ」など)についても、過去の写真・資料等をウェブで配信し、ギャラリーで展示するなど、ただ中止にするのではなく代替手段の検討に取り組んでいることを評価します。 ・利用率が下がると、空き施設を利用して「ホールのグランドピアノを弾いてみませんか」等の事業を実施し、施設を有効活用する工夫に取り組んでいることを評価します。 ・「Music Space Anthology」事業では、アーティストの無観客ライブ配信を実施するのみならず、舞台収録ノウハウの講座に関する動画を作成して公開するなど、これからの文化活動の担い手を育成するための工夫に取り組んでいることを評価します。 ・複合施設の特徴を活かし、文化活動の実施が難しいなかでもいわまワークスと「2021年カレンダー原画展」など、協力して事業を実施し、文化的コモンズの形成に取り組んでいることを評価します。 ・指定管理者の強みを活かし、広報宣伝に取り組んでいることを評価します。  【更なる取組を期待する点】 ・自主事業については、新型コロナウイルス感染症対策を実施の上、文化活動の継続に向けて取組を続けることを期待します。 ・課題にも挙げられていた「ウェブでの有料配信」については、コロナ禍での文化活動にとって重要な課題であると考えます。回線をはじめとする設備の充実についても検討し、積極的に取り組むことを期待します。 ・地域で活動している市民団体等との連携については、共同事業体内で手法を共有しながら工夫し、関係を絶やさないよう努めることを期待します。 ・今後も共同事業体によるメリットを存分に発揮しウェブを活用した効果的な広報活動に取り組んでください。	
		●「岩間シネクラブ 思い出名画館」事業 □述べ入場者数/開催回数	720名/6回	219名/2回	-	感染症拡大防止のため、4月、6月、8月、2月は中止。 実施日:10/15, 12/17。 感染症拡大防止のため、定員の半数を上限とし、午前の部と午後の部の2回上映とした。			
		●「シネクラブ特別編・サイレントシネマ」 □入場者数	150名	75名/1回	-	感染症拡大防止のため、定員の半数を上限として開催。			
		●「朗読と音の調べ」 ■文学作品朗読とオリジナル楽曲のコラボ □述べ入場者数/開催回数	実施 250名/1回	中止	-	閉館のため中止。			
		○「邦楽いろはにほ」		中止	-	感染症拡大防止のため中止。			
		■委嘱作初演曲を含むプログラム構成の □述べ入場者数/開催回数	実施 250名/2回		-				
		●「シルクロードの旋律を奏でる」 □述べ入場者数/開催回数	300名/2回	55名/1回	-	6/27は定員の半数を上限として実施。 感染症拡大防止のため、10月は中止。			
		●「岩間寄席」 ■アマチュア落語家参加の寄席 □入場者数/開催回数	200名/2回	132名/1回	-	アマチュア落語家をメインとした落語会。感染予防のため、前半(4月)は中止し、10月11日のみ実施。ホール定員の半分を上限、二部制とし、途中入場者を入れ替えて実施。			
		●「レクチャーコンサート」 曲目解説付きのコンサート	90名/1回	中止	-	感染症拡大防止のため中止			
		●「プラザDE体験講座」 カメラ講座 □参加者数	各回8名	7名/2回	-	カメラ講座実施2回 10/23, 11/17 4月5月は閉館のため中止。6月～9月・12月～3月は感染症拡大防止のため中止。			
		楽器体験教室 □参加者数	各回8名	6～11月各回6名 12～3月各回5名 合計19回実施	-	二胡教室:4月5月の閉館中及びその直後の6月前半は中止。 実施日6/18, 7/2, 7/16, 8/6, 8/20, 9/3, 9/17, 10/8, 10/22, 11/5, 11/19, 12/3, 12/17, 1/14, 1/28, 2/11, 2/15, 3/11			
		追加	■楽器体験教室 成果発表会	実施	実施	-			■受講生による成果発表会を実施 3/25
		10	●「プラザDE体験講座」 「歌助師匠の岩間落語塾」(24回) (岩間寄席関連講座) □参加者数	6名	各回5名 合計19回実施	-			岩間落語塾:4月5月の閉館中及び直後の6月前半は中止。 実施日:6/24, 7/8, 7/22, 8/12, 8/26, 9/9, 9/23, 10/14, 10/28, 11/11, 11/25, 12/9, 12/23, 1/13, 1/27, 2/10, 2/24, 3/10, 3/24
		11	○「プラザDE体験」 「着付け教室」(20回)	10名	延べ38名/12回	-			感染症拡大防止のため、内容を変更して10月～3月実施。 実施日:10/13, 10/27, 11/10, 11/24, 12/8, 12/22, 1/19, 1/26, 2/9, 2/16, 3/2, 3/16
12	「ホールのグランドピアノを弾いてみませんか」	月3回	延べ179名/44回	A	実施日 6/29, 30 7/7,9,14,27,28,30 8/15,24,27,29 9/3, 10, 19, 28 10/4, 8, 20, 27, 30 11/10, 13, 17 12/8, 10 1/7, 8, 14, 22, 23, 29 2/1, 5, 9, 18, 25 3/5, 9, 11, 12, 22, 23, 26				
追加	「ホールででっかくアンプを鳴らせ」		1名/1回	-	実施日 6/11, 14, 16				
追加	「素舞台体験」		7名/2回	-	実施日9/12, 10/1				
13	③市民プラザでの芸術体験を通じて、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	●保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート □入場者数	100名	82名/1回	-	例年2月開催のコンサートは中止 保土ヶ谷歴史まち歩き(オープンヘリテージ)にあわせて11/17～24 「保土ヶ谷の歴史的建造物巡り」パネル展開催			
14		●横浜市推進するフェスティバル事業: 「横浜トリエンナーレ」への協力 □実施回数	1回	1回	B	応援プログラムとして「ぼくとわたしのお絵かき遊び」を映像で収録し、動画で公開			

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
2 次世代育成に取り組みます。	①次世代を担う子どもたちが、文化芸術を通して、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」 □述べ参加者数/開催回数	350名/2回	137名/2回	-	実施日12/20、3/2	【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多数の観客を集めてのイベントの開催はむずかしく、動画を作成してweb上での講座、作品公開に替えるものもありました。 動画の一部は館内ロビーモニターでも再生しており、来館者に好評をいただいております。  【課題】 回線を用いての双方向のコミュニケーションができる講座(オンライン講座)等には、通信速度の安定性が必須になります。そのための、環境づくりが必要です。
		○音楽の贈り物@ほどがや □述べ参加者数/開催回数	450名/3回	中止	-	5月、12月予定のところ中止	
		●シリーズ午前の音楽会(年6回)	(I-1再掲)	192名/3回	-	感染症拡大防止のため、5月、7月、9月は中止。 実施日:11/21、1/16、3/20 感染症拡大防止策のため、定員の半数を上限として実施。	
		●子どものための夏休み日本舞踊WS「めざせ☆やまとなでしこ&にっぽんだんじ」 □参加者数	25名/1回	0名/1回	-	日本舞踊教室は中止 講師による「日舞ws動画」をHPとロビーのモニターにて公開	
		●「ぼくのわたしのお絵かきあそび」 □述べ参加者数/開催回数	150名/1回	0名/1回	-	岩間保育園児による作品をギャラリーに展示して動画に収録。8/29~9/30web上で公開を行った。	
		●「ギャラリー紙芝居口演」 □述べ参加者数/開催回数	50名/1回	0名/1回	-	「ぼくのわたしのお絵かきあそび」公開時に「えかたり〜べ」作品公開ページにリンク。	
3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成をします。	②横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	●横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム 実施校数	5校	4校	-	中止:瀬戸ヶ谷小学校 実施:釜小学校 今井小学校 初音が丘小学校 川島小学校	
		①地域で文化活動を担う人材を育成するための事業を実施します。	●WEB制作・映像制作講座(初年度初級) □述べ参加者数/開催回数	15名/1回	0名/1回	-	舞台収録講座の動画を作成し、web上で公開
		●「地域理解講座&体験ツアー」 □述べ参加者数/開催回数	50名/2回	142名/2回	A	10/10講座:ホールにて、「東海道 風景街道」との共催で開催。 「保土ヶ谷歴史的まちあるき(オープンヘリテージ)」にあわせて11/17~24/パネル展開催	
		②市民が主体となつて行う文化芸術活動を支援します。	●岩間シネクラブサロン交流会 □述べ参加者数/開催回数	30名/2回	中止	-	感染症拡大防止のため中止
		●「岩間ROCK SPACE2020」 バンドコンテスト予選会として両プラザで開催 □参加組数	8組	5組	-	「Music Space Anthology」事業(共催吉野町市民プラザ・協力関内ホール)では、予選通過5組による無観客ライブを開催。映像を収録し、web上で公開	
		○保土ヶ谷区民文化祭 美術展/写真展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	中止	-	保土ヶ谷区実行委員会の判断により開催中止	
		○保土ヶ谷区民文化祭 茶・華道会いけばな展 ■地域の方の作品展示・文化に触れる機会の提供協力	実施	中止	-	保土ヶ谷区実行委員会の判断により開催中止	
		○保土ヶ谷区民文化祭 高齢者作品展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	実施	-	10/31~11/4に実施。600名来館。会場確保・広報等の協力を行った。	
		③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指し	●「東海道保土ヶ谷宿魅力発見シリーズ」 □参加者数	100名	94名/1回	-	3密回避のため、会場岩間市民プラザ4Fホールに変更して開催。今回は、地歌と落語のコラボレーションに加え、人・まち文化振興会の近藤氏との対談も行った。
		●「保土ヶ谷オープンヘリテージコンサート」	(I-1再掲)	82名/1回	-	今年度は「保土ヶ谷区歴史的建造物巡り」は11月に開催。その期間にあわせて、ギャラリーにてパネル展を開催。ほどがや人・まち文化振興会と共催。保土ヶ谷区役所の後援を得た。	
○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」	(I-2再掲)	137名/2回	-	横浜で活動を行っているNPO法人に協力し、子どもたちが舞台を楽しむ機会を提供。感染症拡大防止のため、10月の開催は中止。			

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
4 文化芸術を通じ地域のネットワーク形成へ寄与し、文化的commons形成の牽引をします。	①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	●音楽の贈り物@ほどがやア)音楽発表会@宿場祭りイ)YBPクリスマスコンサート	(I-2再掲)	中止	-	5月、12月予定のイベントが中止となった	【成果】 本来外部で開催する「東海道☆魅力発見」イベントは、感染症拡大防止を第一に考えて、場所をより広いホールに移した。イベント主旨が「地域の魅力を伝える」ものなので、地元の文化人との対談を加えるなど内容にも工夫をしました。  【課題】 コロナ禍においては、地域で活動している市民団体等との連携の手法を変えるなどのさらなる工夫をして、継続的な関係の維持に努める必要があります。	
	②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	●東海道保土ヶ谷区宿魅力発見シリーズ  ●保土ヶ谷区オープンヘリテージコンサート	(I-3再掲)	94名/1回	-	3密回避のため、神社仏閣ではなく、岩間市民プラザ4Fホールにて開催。ほどがや人・まち文化振興会の近藤氏との対談コラボも実施。  「保土ヶ谷歴史的建造物めぐり」の開催時期に合わせほどがや人・まち文化振興会と共催で。ギャラリーにて歴史的建造物パネル展を開催。		
	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	○借恵あきまつり ■借恵いわまワークス通所者作品展・鑑賞会等のイベントを通して地域との交流をはかる事業への協力	実施	中止	-	感染症拡大防止のため中止		
	29							
5 地域コミュニティの形成、社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進をします。	①文化芸術・社会福祉・国際交流の三分野にわたる複合施設としての特色を活かし、「借恵いわまワークス」「NPO法人保土ヶ谷国際交流の会」の各団体と協力・連携しながら、取り組みます	○岩間シネクラブでの障がい者就労支援喫茶店「いろえんびつ」との連携(チケット購入者の割引特典設定)	実施	実施	-	障がい者就労支援喫茶「いろえんびつ」と連携し、「岩間シネクラブ」のチケット提示による割引特典を設定	【成果】 ホールを使っの集客イベントは中止になったものの、国際交流ラウンジの「国際交流フェスタ展示」に協力、また、いわまワークスとは「2021年カレンダー原画展」など、協力して事業を行うことができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために情報収集協力して運営をすることができています。  【課題】 コロナ禍の文化活動、新たな協力の形の模索を進めます。	
	31	○いわまワークス通所者作品展 □来場者数	100名	237名	A	実施日11/25～12/13 借恵いわまワークス通所者の方の作品「2021年のカレンダー原画」展示と、カレンダーの広報協力を実施		
	32	●フェローアートギャラリー □来場者数 ○借恵あきまつり	200名	中止	-	中止		
		○借恵あきまつり	(I-4再掲)	中止	-	中止		
		●「ギャラリー紙芝居口演」	(I-2再掲)	0名/1回	-	「ぼくのわたしのお絵かき遊び」をweb上で公開の際にリンクした紙芝居口演コンテンツは、地元保土ヶ谷で活躍する「ほどがやえかたり〜べ」作成のもの		
		●「午前の音楽会」事業	(I-1再掲)	192名/3回	-	3歳から入場可能なコンサート。一時保育サービスを用意		
	33	○近隣保育園発表会 □述べ参加者数/開催回数	300名/2回	148名/2回	-	保育園の行事がコロナ感染拡大防止のため中止になるものが多く、当期は2回の協力にとどまった。		
		●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム	(I-2再掲)	4校	-	学校の申し出により、1校は中止。 実施:11/6、13、20峯小学校(絵画) 11/17 今井小学校(落語体験) 12/9 初音が丘小学校(藤塚太鼓) 1/8、15、27川島小学校(絵画)		
	34	○ほどがや国際交流フェスタ □参加者数	300名	78名	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集客のイベントは中止し、過去の写真・資料等をwebと、プラザ3Fギャラリーでの展示に替えた。施設の予約・広報・減免等の協力を行った。		
	35	○異文化理解講座・日本語講座 □述べ参加者数	120名/36回	434名/45回	A	4～9月は中止。10月～3月45回開催		
36	○NPO保土ヶ谷国際交流の会と、事業案内・広報の連携	実施	実施	-	ほどがや国際交流ラウンジと、相互の事業の案内・広報の連携を行った。			

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
6 情報提供及び広報・プロモーション活動をします。	37	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、情報提供・広報プロモーション力を強化します	●テレビ神奈川情報番組、スポットCM □掲載回数	月1回(両プラザで)	両プラザで月1回実施	-	tvk「猫のひたいほどワイド」のコーナーで事業告知を行った。 スポットCM:「岩間寄席」のCMは中止。「サイレントシネマ」については、状況(コロナ関連)を見つつ放映した。	【成果】 緊急事態宣言による閉館、その後の業務再開、利用制限を含むガイドラインの更新など、今年度はWEBでの発信が大きなウェイトを占めました。  【課題】 ガイドライン更新の案内等については、個人情報の管理の徹底を前提としますが、メールでの利用者への連絡も含めて検討し、利用者の利便性を高める必要があります。
	38	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかりやすく利用しやすい発信をします。	●WEBページのコンテンツの充実 よりわかりやすく、読みやすい画面構成作り に努めます。	実施	実施	-	ガイドラインの更新の都度すみやかに新しい情報を掲載。PDFでのダウンロードもできるように加工した。 過去の「岩間寄席」、無観客ライブの「Music Space Anthology」、ギャラリーの展示にかえた「ほくとわたしのお絵かき遊び」や「日舞WS」などの自主事業の動画の掲載や、ホールで収録された利用者の動画の紹介など、来館できない方にも楽しめるような活用を図った。	
	39	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。	●クロスメディア広報 □tvk、神奈川新聞、タウンニュースと連携した広報を展開	随時実施	実施	-	地元のメディアである神奈川新聞、タウンニュースの協力を得ることができた。	
	40		●プラザ催物案内 □発行回数/配布箇所数	12回/150箇所	実施	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の閉館等の対応のため、4月5月は発行せず、6月は館内でのみの掲示にとどめた。 業務再開後は、閉館・配架箇所縮小などの施設があるため部数は縮小して発行した	
	41		■岩間町自治会の広報板・回覧板を利用、 広報よこはま保土ヶ谷区版に告知掲載	実施	実施	-	広報よこはまほどがやく版への情報掲載、自治会の掲示板等へ事業情報掲載を行った	
	42		■相模鉄道発行の情報誌等を活用しての沿線利用者への広報アプローチをする。 「相鉄互版」「駅からさんぽ」への掲載及び、相鉄天王町駅PRボックスにチラシを設置	実施	実施	-	天王町駅設置のPRボックスを活用した	
	43		■沿線のフリーペーパー等の告知を通じて、プラザの認知度アップをはかる	実施	実施	-	沿線のケーブルテレビでの取材は積極的に受ける。	
	44	④地域の人材を育成し市全体のプラットフォームを設立	■周辺地域に集う方々の顔や地域の生きた情報を集めて発信するまちづくり情報サイトの機能を市民プラザホームページ内に構築  ●プラザDE体験講座 カメラ講座  ●映像制作講座(初年度初級)	実施	実施	-	自主事業の動画だけでなく、利用者(市内在住のアーティスト)による無観客ライブ映像をHPに掲載。  感染状況を考慮しつつ、2回開催。  舞台の映像収録講座を作成し、「Yokohama MusicAnthology」サイトの「バンド撮影のコツ」として発信。	

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設を提供します。	1	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。	■交替勤務による伝達不足がないように、引継ぎノートを常備	実施	実施	-	ノート、書類の回覧、グループメールで、情報共有を徹底した webのスケジュール管理システムも活用	【成果】 ガイドライン更新の都度、利用制限等に関するお問い合わせが多く、混乱を避けるためにも、職員での最新情報の共有を徹底しました。  【課題】 感染症拡大防止のため、施設利用自体が縮小傾向のため、今後、より安心してご利用いただける環境づくりに継続的に取り組む必要があります。  【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、個人情報の管理の徹底や適切な施設の提供を行ってください。 ・料金に関するご案内や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にあたっての必要事項等の説明については、施設職員内で周知徹底し、ご利用者への丁寧な対応を心がけてください。 ・効率の良い施設運営に向けて、両市民プラザ間での情報共有、ノウハウの共有に一層取り組むことを期待します。 ・今後も継続して個人情報取扱、コンプライアンス研修の定期的な実施をお願いします。
	2		■e-mailによる問合せ等にも迅速に対応、施設見学希望を随時受付	実施	実施	-	来館・電話・メールの問い合わせは随時受付。利用状況によって見学希望にも柔軟に対応した。	
	3	②利用率が高まる工夫を行います。	■ギャラリー利用推進のため、「U-25割引制度」を導入	実施	実施	-	個別に営業・利用の働きかけは行った。当期の利用はなし。	
	4		■予約システム受付終了後も、公演・展示利用受付	実施	実施	-	ホールの予約システム期限後の申込には柔軟に対応した。また、ギャラリーの展示外利用も実施した。	
	5		■営業担当者によるPR活動	実施	実施	-	近隣企業や団体への訪問等による営業活動を行った。	
	6		□目標利用率(%)					
			ホール(日) 94 ギャラリー(日) 55 リハーサル室(コマ) 76 レクチャールーム(コマ) 65 スタジオ(コマA～D平均) 86.5	77.4 27.4 40.2 43 60				
7	③日頃から安全第一に考えて、運営業務を遂行できるよう、防災訓練でスタッフの危機管理意識を高めます。	■防災訓練の実施	2回	2回	B	実施：個別研修9/3～15、集合研修9/14、3/8(3/8は国際交流ラウンジ、いわまワークス合同で開催)		
2 利用者ニーズの把握、サービスの向上に努めます。	8	①来館者・利用者からのご意見・ご要望を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施	-		
	9		■緊急度・重要度から優先順位を決め順次取り組む。	実施	実施	-		
	10		■対応後はより良い改善に向け検証を実施	実施	実施	-		
	11		□接遇研修	1回	2回	A	実施日 9/14, 3/8	
	12	②対象に応じた情報収集ツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づくサービスの向上につとめます。	■ご意見箱・受付対応・アンケートなどを通じてニーズを把握	実施	実施	-	感染症拡大防止の観点から、紙を媒体としたアンケートの収集は停止。口頭による聞き取り、ネットを利用したアンケートに切り替えた	
13	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組をします	■動画を作成して発信 ■受付カウンターにモニターを設置、来館者へのイベント等の発信	実施	実施	-	ロボーのモニターで自主事業や横浜市からの広報などの動画を放映した まだ自主事業の動画はYouTubeにアップロード。HPからアクセスできるように設定した		
3 組織的な施設運営を行います。	14	①適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5)	□適所に必要な人材を配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付担当5)	実施	実施	-		
	15	②組織内の情報共有及び主要人材の能力確保を行います	□朝礼	1回/日	1回/日	B		
	16		□職員会議	1回/月	1回/月	B		
	17		□運営会議	4回/年	4回/年	B		
	18		□企画検討会 随時	随時実施	随時実施	-		
19		□職員研修	2回/年	2回/年	B	実施日 9/14, 3/8		
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取り組みをします。	20	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組を実施	■ネット上で申込み時の個人情報を安全に取り扱う仕組みを導入する	実施	実施	-	セキュリティシステムを導入し、定期的な更新を行っている	
	21		■個人情報管理・パスワード管理の徹底	実施	実施	-	個人情報を含む書類の施錠管理、データはパスワード管理を徹底	
	22		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に添った対応	実施	実施	-		
	23		■人権に配慮した運営・接遇	実施	実施	-	研修の実施	
	24		■文化施設としての快適性を確保しつつ節電	実施	実施	-	デマンド監視装置導入	
25		■中小企業への優先発注	実施	実施	-	市内事業者・中小企業にできる限り発注		
							【成果】 毎日の朝礼や各種会議において、ガイドライン更新時の利用制限・感染対策手法などの共有を徹底しました。  【課題】 継続して情報共有の徹底に努めます。  【成果】 感染拡大防止のためあって、ネットでのアンケート収集を開始しました。情報保護に配慮して定期的なセキュリティ更新を行っています。人権研修の実施をする、環境への配慮、市内中小企業優先などの意識をもって江運営しています。  【課題】 今後も継続して個人情報・人権などへの配慮を持った運営を心がけます。	

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価		
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 施設及び設備の維持保全、及び管理をします。	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施	1 日常点検時に発見した不具合を適切に補修、安全性を確保	実施	実施	- 不具合のうち、スタジオ備品等の職員で対応できるものについては随時補修を実施	【成果】 不具合のある設備についての修繕・更新については順次実施しました。衛生面のみならず、感染拡大防止のための清掃(除菌清掃)は、清掃スタッフだけでなく、職員全員が取り組みました。  【課題】 施設の老朽化が進んでいるため、外壁改修工事の予定はあるものの、降雨のたび雨水侵入が発生しており、室内の設備への影響が懸念されます。  【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症対策については、感染症対策の手段等を含め、事業体間でも情報共有を行いながら進めていくことを期待します。 ・ネット環境のない利用者への情報提供については、ターゲットに応じた情報提供手段の検討に取り組み、利用者間で不公平になることのないよう、検討を進めてください。 ・施設利用者の安全を第一に考え、適切な小破修繕の実施に取り組んでください。 ・利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持をお願いします。また、施設の不具合の情報については、市との情報共有を引き続き積極的に行ってください。	【評価する点】 ・消毒液の設置等を実施し、適切に感染症防止対策に取り組んでいることを評価します。 ・緊急時に全職員が適切に対応できるよう、消防訓練・防災訓練、災害用備蓄品の整備等を実施していることが確認できました。 ・日常清掃や設備の各種点検を確実に行われていることを評価します。	
		2 消防設備及び法定点検を計画通り実施。不具合は確実に修繕	実施	実施	- 法定点検を実施し、不具合のあるものについては修繕・更新を行った			
		3 ②保守点検・備品管理、環境維持を実施します。	□一定の期間が必要な修繕等に対応するため、連続する作業可能日を設ける	随時	実施			- 連続休館日:8/17, 18
		4	■「管理基準」により地球環境に配慮しながら快適な環境を維持	実施	実施			- 「管理基準」により地球環境に配慮しながら環境の維持につとめたが、感染症拡大防止のための対応を優先した。
		5	■業務の基準に則り物品管理	実施	実施			-
		6	■利用実態に即した満足度を向上させる清掃	実施	実施			- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アルコール・界面活性剤等の消毒液を用いた除菌清掃を全館実施。清掃員・職員による、利用者の入替えごとの各室場の除菌清掃を実施した。
		7	■年間排出計画を定めて廃棄物の発生抑制	実施	実施			- 年間排出計画を定め、廃棄物の抑制を図った。
		8	□月1～2回の施設点検・職員研修	月1～2回	月1～2回			-
		9	□エレベーター・カーリフト点検	月1回	月1回			-
2小破修繕を着実に実行します。	①小破修繕の取組をします	10 □巡回点検回数	1回/日	1回/日	B 開館前、利用者入替時(退出後)、閉館前に点検し、点検表に記録。	【成果】 室場の巡回点検は、始業前・利用者入替の都度・就業行前に実施しています。設備のチェックに加えて除菌清掃作業を並行して実施しています。  【課題】 施設・設備の老朽化が進んでいるため、保守点検や小破修繕等を適切に実施します。		
		11 ■優先順位を付け、設置者と協議の上修繕を実施	実施	実施	- 安全にかかわるものを優先に修繕を実施した。			
		12 ■更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施	- 外壁工事(設計)			
3 事故予防及び緊急時対応を実施します。	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施を行います。	13 ■消防設備・避難経路の案内図を掲示し来館者へ周知	実施	実施	- 消防設備と避難経路の案内図を館内に掲示。随時点検	【成果】 日常清掃に加え、職員全身体制で、アルコール等を用いた除菌清掃・外気を取り入れた換気を行い、感染症拡大防止に努めました。  【課題】 感染症拡大防止のための対策は今後も継続して実施します。		
		14 ■施設設備不具合には迅速に対応し故障・停止を未然に防止	実施	実施	- 保守点検契約を結び、建築設備・舞台設備の維持管理を行った			
		15 ■緊急時連絡網の作成、横浜市との連携の徹底	実施	実施	- 横浜市へ提出			
		16 ■館内巡回により日常の衛生管理を徹底	実施	実施	- 日常清掃に加え、利用時間前・利用者入替時に、各室場のアルコール等を用いた除菌清掃を実施			
4 防災に取り組みます。	①日常の取組、危機管理マニュアルを整備、防火・防災に取り組み、災害備蓄等を実施します。	17 ■災害時には「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応	実施	実施	- コロナ感染拡大防止のため、日常的な除菌清掃作業、利用者にもご協力をお願いしての各室場の定期的な外気換気を実施	【成果】 ・年2回の防災訓練は、感染症拡大防止のため、例年とは時期をずらして実施しました。また3密回避のため、参加人数減、全体訓練とは別に職員向けに個別訓練の時期も設けて、訓練内容に漏れがないように努めました。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ガイドラインに則った施設管理・お客様対応を徹底しました。  【課題】 ・夜間・時短の場合の少人数勤務の際に、豪雨や地震・火災等の突発的な災害が発生した場合の対応、防潮板の設置が今後の課題です。		
		18 ■危機管理マニュアル整備	実施	実施	- ガイドライン更新の都度、職員・利用者への周知の徹底を図った			
		19 ■防火・防災管理者、統括防火管理者の選任	実施	実施	- 防火管理者及び統括防火管理者を選任している			
		20 ■所轄の消防署と相談した、非常時に成果が行かせる訓練を行う	実施	実施	- 豪雨・増水に備えた防潮板を用いた訓練の実施。いわまワークス・国際交流ラウンジ・三師会館合同での防災訓練の実施			
		21 ■非常用品を常備し、いつでも使用できるように管理	実施	実施	- ヘルメット・レスキューセット・飲料水・非常食・簡易毛布等を常備			
		22 □防災訓練実施回数	2回/年	2回/年	B 実施9/14, 3/8			
		23 □台風等による増水対策防潮板設置訓練の実施回数	1回以上/年	1回以上/年	B 個別訓練9/3～15に実施			
5 その他の管理。		24 ■許認可および届出の適切な実施	実施	実施	- 許認可・著作権を含む各種届出は適正に実施	【成果】 緊急事態宣言など、感染症拡大防止対策に伴うガイドラインの更新が続きましたが、更新の都度、速やかにHP上の告知・館内掲示などの更新し、利用者へのできるだけ早い周知を心がけました。  【課題】 ネットを活用しないお客様への連絡をどのようにすれば速やかにできるかは、今後の課題と考えます。		
		25 ■目的外使用許可手続	実施	実施	- 適切に実施			
		26 ■名札の着用	実施	実施	- 常時着用を徹底			
		27 ■人権の尊重、人権講習会等に参加	実施	実施	- 人権研修の実施、外部での研修会への参加			
		28 ■騒音・利用者迷惑行為に関する近隣対策の実施	実施	実施	- 工事等の際は近隣にご案内。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための換気の際には、音が出ないように利用者への協力要請を徹底した			
		29 ■書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施	- 各種書類による保存期間を定めて管理している			
		30 ■行政機関が制定する規程等の遵守、法律制定・改正時の対応	実施	実施	- 感染症拡大防止ガイドライン・緊急事態宣言等発令・更改の際には適正に対応			
		31 ■法律の制定・改正時には、横浜市と協議し対応する	実施	実施	-			

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造および収支バランスを目指します。	1 適切な収支構造及び収支バランス目指します	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施 ■事業収支の精査	実施	実施	-	事業ごと分岐点を算出・設定	<b>【評価する点】</b> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で厳しい財政状況のなか、文化活動の継続に向けて取り組んでいることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい財政状況のなか、公的助成金(文化庁の補助金)を積極的に獲得・活用したことを評価します。 ・入札による電力契約等、諸経費の節約に努めていることを評価します。  <b>【更なる取組を期待する点】</b> ・自主事業による事業収入を基本としつつ、助成金や協賛金の獲得に向けた取組も引き続き行うことを期待します。
	2		実施	実施	-		
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造に取り組みます。	3 ①指定管理料のみに依存しない収入確保に取り組みます。	■利用率向上による収入確保 □目標利用率(再掲)	実施	実施	-	緊急事態宣言に伴う閉館・利用制限があった。	
			(Ⅱ-1再掲)				
	4 ②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策やコスト削減等、収支構造を再分析し、短・中期的ビジョン	■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施 ■商品サンプリングの実施	実施	実施	-	催物案内の広告を獲得 文化庁の補助金の獲得  コロナ感染拡大防止のため、サンプリングは実施しない	
3 経費削減及び効率的運営努力をします。	5		実施	中止	-		
	6 コスト削減の徹底を実施します	■空調や照明を節減し、光熱水費削減  ■職員全員が削減意識を持ち事務事業費の経費削減	実施	実施	-	デマンド監視装置により全館の管理を行った 日常的に電気・水道などの節約を行った	
7			実施	実施	-	発注先の見直し・部数の検討などを日常的に行っている	

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
日報及び月間事業報告書の作成・管理	1	各種日報を作成	実施	実施	-	業務日報・舞台管理日誌・設備管理日誌清掃日誌を作成	<b>【成果】</b> ・各種報告書は適正に作成・報告しました。  <b>【課題】</b> ・引き続き適正に作成・報告し情報を共有します。
	2	月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	実施	-	月報を作成してモニタリング(毎月)に提出	
	3	日報・月報の管理保存	実施	実施	-		

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価	
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
/	1 ①必要な保険に加入します	保険・損害保険の加入	実施	実施	-		<b>【成果】</b> ・感染症拡大防止のため、一堂に会しての研修は避け、個別にこまかく研修を実施するなどの工夫をして、法令遵守に取り組みました。  <b>【課題】</b> ・感染症拡大防止に配慮しつつ、今後も横浜市及び関係機関との連絡調整会議を開催します。
	2 ②関係法令を遵守します	法令順守	実施	実施	-	感染症拡大防止ガイドライン・緊急事態宣言等発令・更改の際には適正に対応	
	3 ③情報公開に取り組めます	■横浜市「情報公開に関する標準規定」 「横浜市市民プラザ情報公開規定」遵守	実施	実施	-		
	4 ④市その他関係機関との連絡調整	□横浜市モニタリング	1回/月	1回/月	-	緊急事態宣言に伴う閉館の期間は実施しなかったため、年10回の実施	
	5	□プラザ館長会議	6回/年	6回/年	B		
	6	□JV会議	4回/年	4回/年	B		

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 2つの市民プラザを一体で運営します	1 ①共同事業実施による市民文化活動の交流拡大 ②教育プラットフォーム学校プログラムコンテンツ拡充、効率化 ③スケールメリットによるファンドレイジング活動、利用促進活動の推進 ④一体管理による安心安全、快適な施設管理と長寿命化への対応	■「岩間ROCK SPACE」、「音楽空間」や楽器等のワークショップを両館で開催 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ相互に月1回 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携	実施	実施	両館の自主事業、研修などでスタッフ・講師を派遣。 感染症拡大の為、自主事業は少なくなったが、tvk「猫のひたいほどワイド」内のインフォメーションは有効に活用した。	【成果】 吉野町・岩間市民プラザ共催、関内ホール・みどりアートパーク協力の事業「MusicSpaceAnthology」は、映像制作講座と参加型音楽イベントを兼ねた事業となり、二つのプラザの一体感を出すイベントとなりました。そのほかにも、講師・スタッフの相互派遣など協力しての運営ができました。  【課題】 スケールメリットの追及が今後の課題です。	【評価する点】 ・両市民プラザの連携事業を継続的に実施していることを評価します。 ・関内ホールや緑区民文化センターも含めた4館連携事業を新規事業として実施していることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの実施が困難になるなか、連携事業では映像制作講座と無観客ライブ配信を兼ねた内容とし、文化活動の継続・新たな事業手法の開発に取り組んでいることを評価します。  【更なる取組を期待する点】 ・両プラザの連携による効率的な安定的な運営、4館連携事業などの更なる展開を期待します。

評価項目		R2年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標			特記事項	自己評価	行政評価
						年間を通じて新型コロナウイルス感染症への適切な対策に尽力し、安全を最優先に考えながら業務にあたりました。来館者や施設スタッフの健康確認や管理、ソーシャルディスタンスの確保、消毒薬の入手と館内各所への設置、マスク着用の徹底など基本的な感染症対策をしっかりと行いつつ、各室場の利用者入れ替え時の消毒作業や、利用者の協力を得ながら行った徹底した換気など、感染症拡大防止と利用者の安心感向上に努めました。ガイドラインの発出や変更に伴う施設の申し込みやキャンセルルール、自主事業開催の可否などについても迅速に情報を発信し、丁寧な対応に取り組みました。事業計画段階と比較して、数多くの取り組みを断念せざるを得ませんでしたが、オンラインを活用した新たな事業手法に着手するなど、ウィズコロナ時代の施設運営継続について検討を進めました。設備管理については、経年劣化に伴う補修・修繕など早めの対策を行うことが課題です。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症という未曾有の災害に見舞われた年でした。厳しい状況の中、事業体のバックアップやノウハウの共有により、大きな混乱やトラブルなく対応していることを評価します。今後も、事業体間・地域・他の文化施設・本市などと連携した取り組みを行い、前例のない危機にも柔軟かつ適正な対応を行える体制づくりに努めてください。 事業に関しては、感染症の影響で中止や利用人数の制限による縮小開催を余儀なくされる一方で、感染症対策の上、文化活動の継続に努めていることが確認できました。特に、映像制作講座と無観客ライブ配信により、4館連携事業を実施したことを評価します。新型コロナウイルス感染症の影響により動画配信等、ウェブでの事業展開の需要が高まることが見込まれます。指定管理者の強みを活かし、今後もコロナ禍での文化施設運営について検討を重ねることを期待します。 また、複合施設の特性を生かして協力連携(「2021年カレンダー原画展」など)を行い、文化芸術を通じた地域のネットワーク形成へ寄与していることを評価します。今後も、関係団体との協力、地域との交流を引き続き積極的にを行い、文化的コモンズの形成を牽引していくことを期待します。 厳しい財政状況のなか、補助金や広告により収入の増加に取り組んだことを評価します。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが見込まれますが、引き続き助成金や協賛金等の獲得に積極的に取り組んでください。 施設の管理運営については、引き続き適正に維持管理し、速やかに修繕対応等の検討が進められるよう、関係者への情報共有を行ってください。岩間市民プラザは、コロナ禍で苦境に立つ地域の文化活動にとって重要な役割を担っています。培ってきたノウハウを生かし、より多くの市民に愛され親しまれる施設を目指してください。